

平成29年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年4月27日

上場会社名 協和発酵キリン株式会社

上場取引所 東

コード番号 4151 URL <http://www.kyowa-kirin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 花井 陳雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 坂本 二郎 TEL 03-5205-7206
コーポレートコミュニケーション部長

四半期報告書提出予定日 平成29年5月10日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有（機関投資家、証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	90,935	2.8	14,704	72.5	13,688	74.6	8,484	14.7
28年12月期第1四半期	88,469	△1.3	8,522	△8.8	7,841	△3.0	7,399	60.6

（注）包括利益 29年12月期第1四半期 6,416百万円（-％） 28年12月期第1四半期 △2,482百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	15.50	15.49
28年12月期第1四半期	13.52	13.51

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第1四半期	691,788	600,362	86.7
28年12月期	697,167	600,745	86.1

（参考）自己資本 29年12月期第1四半期 599,858百万円 28年12月期 600,182百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	-	12.50	-	12.50	25.00
29年12月期	-	-	-	-	-
29年12月期（予想）	-	12.50	-	12.50	25.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	344,000	0.3	35,000	10.6	30,000	13.6	19,000	1.8	34.72

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年12月期 1 Q	576, 483, 555株	28年12月期	576, 483, 555株
② 期末自己株式数	29年12月期 1 Q	29, 169, 967株	28年12月期	29, 261, 490株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年12月期 1 Q	547, 244, 693株	28年12月期 1 Q	547, 226, 349株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成29年1月1日から3月31日までの3か月間）の売上高は909億円（前年同期比2.8%増）、営業利益は147億円（同72.5%増）、経常利益は136億円（同74.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は84億円（同14.7%増）となりました。なお、2016-2020年中期経営計画の経営目標に掲げるコア営業利益（営業利益+のれん償却額+持分法投資損益）は165億円（同53.7%増）となりました。

- ◎ 売上高及び営業利益は、昨年4月に実施された薬価基準引下げの影響があったものの、技術収入の増加や研究開発費の減少等により増収増益となりました。
- ◎ 経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益も増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

医薬事業

① 業績

医薬事業の売上高は、715億円（前年同期比5.1%増）となり、営業利益は129億円（同119.2%増）となりました。

- ◎ 日本の売上高は、医療費抑制策に伴う後発医薬品の浸透や薬価基準引下げの影響等を受け前年同期を下回りました。
 - ・主力製品の持続型赤血球造血刺激因子製剤「ネスプ」は、薬価基準引下げの影響等により前年同期の売上高を下回りました。
 - ・抗アレルギー剤「アレロック」、高血圧症・狭心症治療剤「コニール」、好中球減少症治療剤「グラン」等の長期収載品は、後発医薬品の浸透等の影響を受けて売上高が減少しました。
 - ・パーキンソン病治療剤「ノウリアスト」、2型糖尿病治療剤「オングリザ」、二次性副甲状腺機能亢進症治療剤「レグパラ」、持続型G-C-S-F製剤「ジーラスタ」等は、堅調に売上高を伸ばしました。
- ◎ 海外の売上高は、技術収入の増加等により前年同期を上回りました。
 - ・欧州及び米州では、癌疼痛治療剤「Abstral」及び「PecFent」等が伸長したほか、アストラゼネカ社からの契約一時金収入等により売上高は前年同期を上回りました。
 - ・アジアでは、台湾や韓国を中心に堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

② 研究開発

当社では、抗体技術を核にした最先端のバイオテクノロジーを駆使し、腎、がん、免疫・アレルギー、中枢神経の各カテゴリーを研究開発の中心に据え、資源を効率的に投入することにより、新たな医療価値の創造と創薬の更なるスピードアップを目指しております。

当第1四半期連結累計期間における主な後発医薬品の開発状況は次のとおりであります。

腎カテゴリー

- ・日本においてカルシウム受容体作動薬KHK7580の血液透析施行中の二次性副甲状腺機能亢進症を対象とした第Ⅲ相臨床試験を実施中です。
- ・日本においてRTA402の2型糖尿病を合併する慢性腎臓病を対象とした第Ⅱ相臨床試験を実施中です。
- ・中国において持続型赤血球造血刺激因子製剤KRN321（日本製品名「ネスプ」）の透析施行中の腎性貧血を効能・効果とする承認再申請の準備中です。

がんカテゴリー

- ・日本においてc-Met阻害剤ARQ197のソラフェニブ治療歴を有するc-Met高発現の切除不能肝細胞癌を対象とした第Ⅲ相臨床試験を実施中です。
- ・抗CCR4ヒト化抗体KW-0761（日本製品名「ポテリジオ」）は、皮膚T細胞性リンパ腫を対象とした第Ⅲ相臨床試験を米国、欧州及び日本等において、成人T細胞白血病リンパ腫を対象とした第Ⅱ相臨床試験を米国及び欧州等において、それぞれ実施中です。

免疫・アレルギーカテゴリー

- ・抗IL-5受容体ヒト化抗体KHK4563は、日本において気管支喘息を適応症とした承認申請を、本剤の権利の導出先であるアストラゼネカ社が行いました。また、同社が実施している国際共同試験計画の一環として、気管支喘息を対象とした第Ⅲ相臨床試験を日本及び韓国において、慢性閉塞性肺疾患を対象とした第Ⅲ相臨床試験を日本において、それぞれ実施中です。
- ・韓国において抗IL-17受容体A完全ヒト抗体KHK4827（日本製品名「ルミセフ」）の乾癬を対象とした第Ⅲ相臨床試験を1月に開始しました。
- ・日本においてゼリア新薬工業(株)との共同開発である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」の用法・用量追加の承認を申請中です（平成28年7月申請）。

中枢神経カテゴリー

- ・KW-6002（日本製品名「ノウリアスト」）の米国におけるパーキンソン病を対象とした再申請の可能性について検討中です。

その他

- ・抗線維芽細胞増殖因子23完全ヒト抗体KRN23は、欧州においてX染色体遺伝性低リン血症を適応症とした承認を申請中です(平成28年12月申請受理)。また、成人X染色体遺伝性低リン血症を対象とした国際共同第Ⅲ相臨床試験を北米、欧州、日本及び韓国において、小児X染色体遺伝性低リン血症を対象とした国際共同第Ⅲ相臨床試験を北米、欧州、オーストラリア、日本及び韓国において、それぞれ実施中です。さらに、腫瘍性骨軟化症又は表皮母斑症候群を対象とした第Ⅱ相臨床試験を米国、日本及び韓国において実施中です。
- ・中国においてトロンボポエチン受容体作動薬AMG531(日本製品名「ロミプレート」)の慢性特発性(免疫性)血小板減少性紫斑病を対象とした第Ⅲ相臨床試験を実施中です。また、日本及び韓国において再生不良性貧血を対象とした第Ⅱ/Ⅲ相臨床試験を実施中です。

バイオケミカル事業

バイオケミカル事業の売上高は、203億円(前年同期比4.0%減)となり、営業利益は17億円(同26.7%減)となりました。

- ◎ 日本の売上高は、前年同期を下回りました。
 - ・医薬品原薬の一部は前年同期を下回りましたが、輸液用アミノ酸等は前年同期を上回りました。
 - ・通信販売事業は、昨年発売の「アルギニンEX」が伸長しました。
- ◎ 海外の売上高は、前年同期を下回りました。
 - ・米州では、サプリメント向け原料の集中出荷があった前年同期を下回りました。
 - ・欧州及びアジアでは、前年同期並みとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

- ◎ 総資産は、前連結会計年度末に比べ53億円減少し、6,917億円となりました。
 - ・流動資産は、受取手形及び売掛金等の減少がありましたが、資金運用としての親会社への短期貸付金の増加等により、前連結会計年度末に比べ43億円増加し、3,308億円となりました。
 - ・固定資産は、円高影響や償却によるのれん及び販売権の減少等により、前連結会計年度末に比べ97億円減少し、3,609億円となりました。
- ◎ 負債は、未払金等の減少により、前連結会計年度末に比べ49億円減少し、914億円となりました。
- ◎ 純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上がありましたが、配当金の支払いや為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度末に比べ3億円減少し、6,003億円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.6ポイント上昇し、86.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年1月31日に公表した連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,066	16,286
受取手形及び売掛金	100,999	96,869
商品及び製品	51,349	52,134
仕掛品	12,934	11,624
原材料及び貯蔵品	11,945	11,954
繰延税金資産	10,824	11,052
短期貸付金	114,866	120,241
未収入金	5,900	6,161
その他	4,848	4,744
貸倒引当金	△265	△265
流動資産合計	326,469	330,803
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	141,432	140,772
減価償却累計額	△89,967	△90,179
建物及び構築物（純額）	51,464	50,593
機械装置及び運搬具	162,747	162,893
減価償却累計額	△133,539	△134,485
機械装置及び運搬具（純額）	29,207	28,407
土地	45,685	44,421
建設仮勘定	15,339	15,360
その他	49,935	50,117
減価償却累計額	△40,585	△40,739
その他（純額）	9,350	9,378
有形固定資産合計	151,047	148,161
無形固定資産		
のれん	134,910	131,143
販売権	49,402	46,617
その他	708	696
無形固定資産合計	185,021	178,456
投資その他の資産		
投資有価証券	11,412	10,902
退職給付に係る資産	6,563	7,031
繰延税金資産	11,496	11,337
その他	5,257	5,197
貸倒引当金	△100	△102
投資その他の資産合計	34,629	34,366
固定資産合計	370,698	360,984
資産合計	697,167	691,788

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,230	21,584
短期借入金	5,360	5,575
未払金	37,608	28,552
未払法人税等	8,183	6,166
売上割戻引当金	1,677	1,966
ポイント引当金	249	254
賞与引当金	422	3,554
その他	7,684	7,663
流動負債合計	79,416	75,317
固定負債		
繰延税金負債	9,144	8,869
退職給付に係る負債	2,358	2,166
工場再編損失引当金	2,988	2,988
資産除去債務	502	504
その他	2,012	1,579
固定負債合計	17,006	16,108
負債合計	96,422	91,425
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,745	26,745
資本剰余金	509,128	509,145
利益剰余金	90,986	92,630
自己株式	△26,889	△26,806
株主資本合計	599,970	601,714
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,037	2,120
為替換算調整勘定	2,385	32
退職給付に係る調整累計額	△4,210	△4,008
その他の包括利益累計額合計	212	△1,855
新株予約権	562	504
純資産合計	600,745	600,362
負債純資産合計	697,167	691,788

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高	88,469	90,935
売上原価	36,746	35,069
売上総利益	51,723	55,866
販売費及び一般管理費		
研究開発費	13,706	11,769
のれん償却額	3,268	3,121
その他	26,225	26,270
販売費及び一般管理費合計	43,200	41,161
営業利益	8,522	14,704
営業外収益		
受取利息	131	110
受取配当金	174	6
為替差益	466	—
デリバティブ評価益	—	537
その他	204	414
営業外収益合計	975	1,068
営業外費用		
支払利息	12	11
為替差損	—	638
デリバティブ評価損	324	—
持分法による投資損失	1,041	1,307
固定資産処分損	238	82
その他	40	44
営業外費用合計	1,657	2,084
経常利益	7,841	13,688
特別利益		
固定資産売却益	2,719	603
債務免除益	1,334	—
投資有価証券売却益	256	—
特別利益合計	4,310	603
税金等調整前四半期純利益	12,151	14,292
法人税等	4,752	5,807
四半期純利益	7,399	8,484
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,399	8,484

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)
四半期純利益	7,399	8,484
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△878	83
為替換算調整勘定	△9,043	△2,340
退職給付に係る調整額	102	202
持分法適用会社に対する持分相当額	△63	△13
その他の包括利益合計	△9,882	△2,068
四半期包括利益	△2,482	6,416
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,482	6,416
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医薬	バイオ ケミカル	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	67,803	20,666	88,469	—	88,469
セグメント間の内部売上高	208	558	767	△767	—
計	68,011	21,224	89,236	△767	88,469
セグメント利益	5,900	2,318	8,219	303	8,522

注1. セグメント利益の調整額303百万円は、セグメント間取引消去であります。

注2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医薬	バイオ ケミカル	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	71,306	19,629	90,935	—	90,935
セグメント間の内部売上高	203	753	956	△956	—
計	71,509	20,382	91,892	△956	90,935
セグメント利益	12,931	1,700	14,632	72	14,704

注1. セグメント利益の調整額72百万円は、セグメント間取引消去であります。

注2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。